

(新)液体PFC等排出抑制対策推進事業費 18百万円(0万円)

地球環境局環境保全対策課フロン等対策推進室

1. 事業の概要

これまでの代替フロン等3ガス全般に関する排出量見通しの再評価、追加対策の検討により、液体PFC(パーフルオロカーボン)については、適切な破壊処理方法を確立することにより短期的に排出抑制効果が見込まれるため、その方法検討を行った上で、液体PFC使用機器の所有者等に排出抑制対策の自主的な実施を促す。

特に洗浄・溶剤用途で使用されているHFC141bは、今後、液体PFC等への代替が行われる可能性があるため、HFC141bの使用実態や代替化の方向を把握し、液体PFC等の事前抑制対策に資する。

2. 事業計画

	平成20年度	平成21年度
1. 液体PFCの排出抑制対策の確立支援		
2. 自主的な排出抑制対策の促進		
3. HFC141bからの代替の把握		

3. 施策の効果

アウトプット 強力な温室効果を有する液体PFC等の破壊処理、使用抑制に資する。

アウトカム 京都議定書目標達成計画上の代替フロン等3ガスに係る目標達成に資して、費用対効果の高い地球温暖化防止を図る。

4. 備考

調査費 18百万円

(内訳)

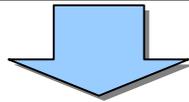
液体PFCの排出抑制対策の確立支援	11,409千円
自主的な排出抑制対策の促進	4,554千円
HFC141bからの代替の把握	2,148千円

液体PFC等排出抑制対策推進事業 実施内容とスケジュール

H
20
年度

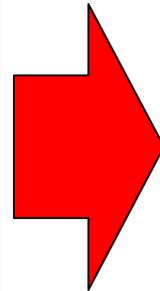
液体PFC（工業洗剤、鉄道用整流器の冷媒として使用。地球温暖化係数：約7500）
の適切な破壊方法、排出抑制対策等の確立

HCF C141b（工業洗剤等として使用。地球温暖化係数：700）
からの代替の把握

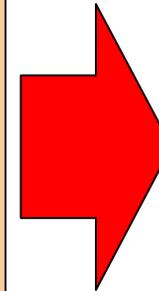


H
21
年度

液体PFC使用機器の所有者に対し、排出抑制対策等を周知



・自主的な排出抑制対策の実施
・排出削減量の把握



温室効果ガス排出量の削減